

既存建築物の地震安全性を向上させる新工法の説明会

美観や使い勝手に配慮した耐震補強工法 「Steel Ivy耐震補強工法」

2015.07.31

竹中工務店 大阪本店 設計部

奥出 久人

概 要

強固な鋼板が蔦（アイビー）のように建物を安全に包んで、耐震性能を向上させます。

- 鋼板を耐震要素とし、デザインを一新
建物の外側に鋼板でできた耐震要素を設置します。
内部の有効面積の減少を最小限に抑え、外観デザインを一新し、
強くて、魅力的な建物への改修が可能です。
- 「スクエアタイプ」と「ランダムタイプ」の2種類のタイプ
壁面全体に均質な補強を行う「スクエアタイプ」と用途、保有耐震性能、
外観デザインにあわせて、必要な階に補強を行う「ランダムタイプ」から選択可能です。

スクエアタイプ



ランダムタイプ



耐震性を向上させると同時に、ビルとしての競争力を強化し、事業性を向上させます。

- ・省スペースで設置可能 ⇒ 使用性・収益性への影響が小さい
- ・居ながらの工事が可能 ⇒ 業務への支障が少ない
- ・既存建物との接合部を隠ぺい ⇒ 意匠の自由度が高い
- ・主部材が鉄骨であり軽量 ⇒ 既存基礎構造への影響が小さい

スクエアタイプ



ランダムタイプ



尚、当該工法の適用につきましては、建物の耐震性能・構造を調査した上でご提案させていただきます。

スクエアタイプ 事例 1

大阪市内 Aビル

【リ・デザイン型】
既存のイメージを**積極的に更新**
条件にあった最適解を得ようと
するケース



(Aビル改修前)





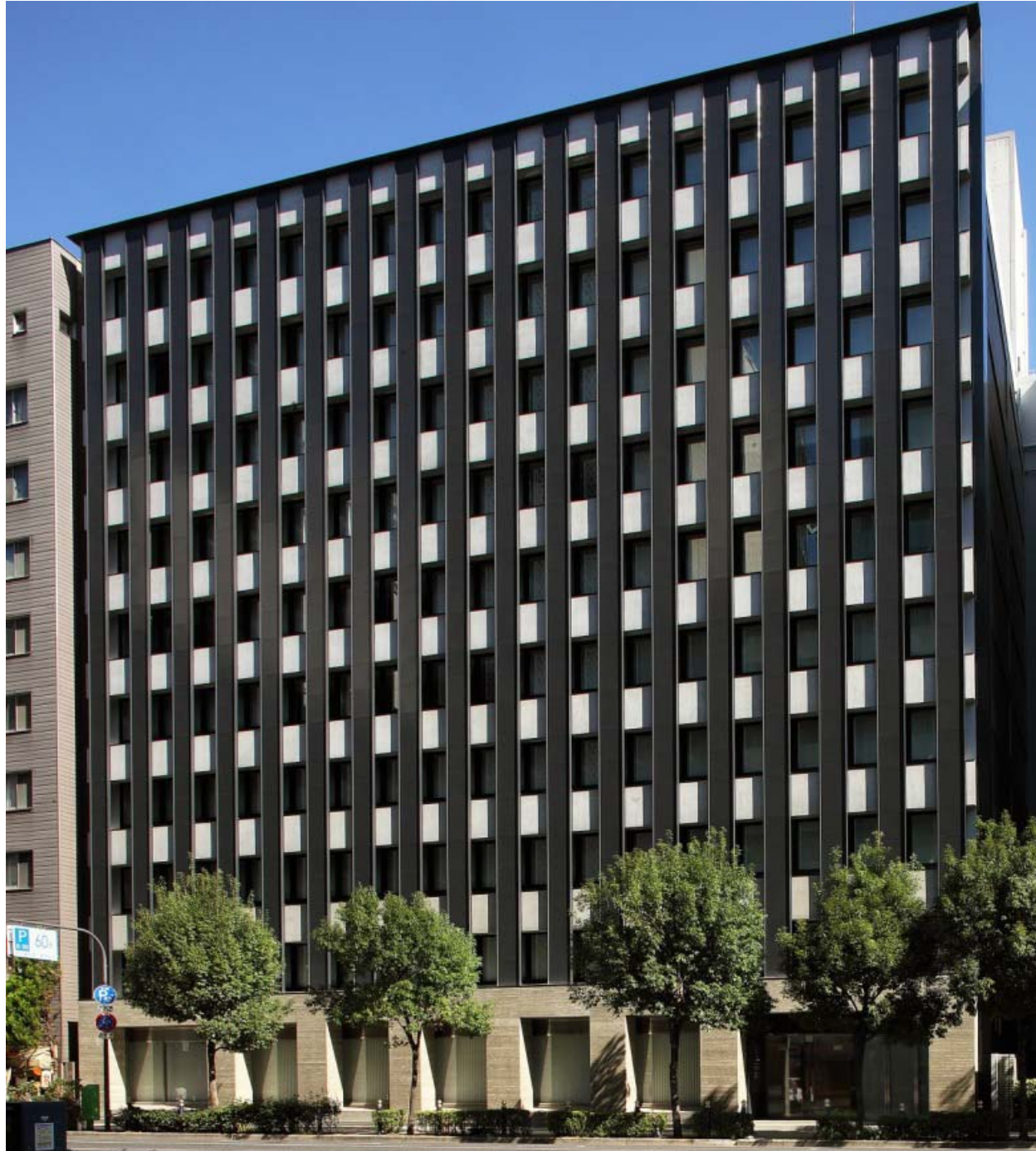
西面外観イメージ



西面補強部イメージ



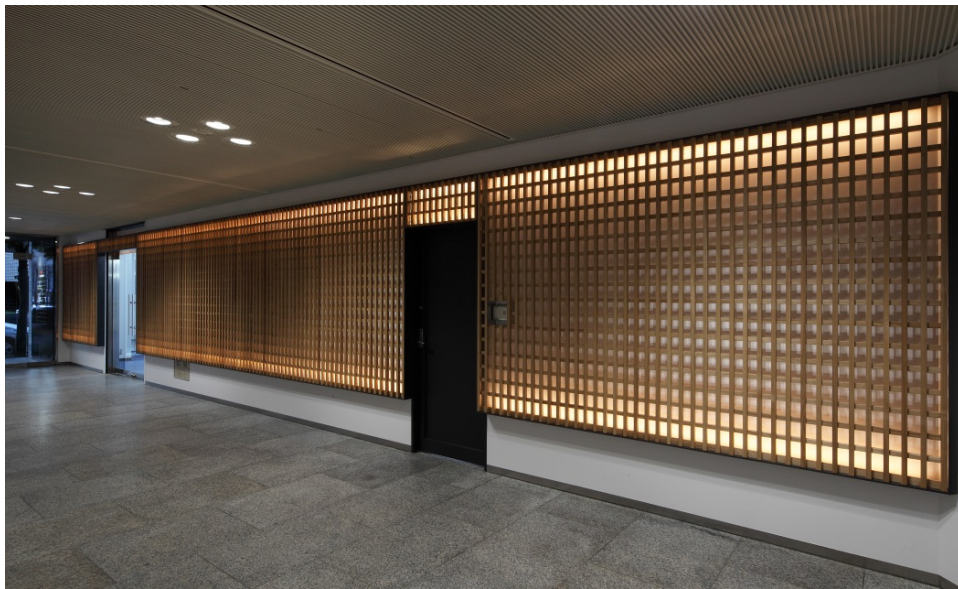
基準階内観イメージ











スクエアタイプ 事例2 ～学校への適用～

神戸市内 B高校



改修前



改修後







ランダムタイプ 事例

大阪市内 C社本社ビル







Fin